



あのとときの常呂・写真館

VOL 19

(1974年)

昭和49年11月10日

第1回酪農祭「ブラック&ホワイトショー」

▶昭和49年11月号の「広報ところ」で伝えている記事の概要を紹介します。

「…酪農の重要性とその楽しさを後継者にも肌で感じてもらおうと、初めての〈酪農祭〉が町営イワケシ牧場で開かれた。これは町乳牛検定組合連合会が主催したもので、参加者はおよそ100人。

この日は、朝から雪が降り始める天候で、牧場も一面雪化粧。トラックで運ばれてきた12ヶ月前後の牛たちも毛布などにくるまれて登場。

まず育成牛の品評会。審査員は富丘乳検組合の青年部で、町の酪農の未来を背負う若者たちの目が光ります。ほかにも、1頭の牛の体重や胸囲を当てるクイズ、一番好きな牛を選ぶファン投票が、参加者全員によって行われました。

このあとは牛肉パーティ。日頃、あまり口にすることのない牛肉に、寒さも忘れてハシを動かし、どの顔もニコニコ。

来年からはもっと早い時期に、しぼりたての牛乳や牛肉の即売会などで楽しめ、多くの町民が参加できるよう計画している」と伝えています。





▶「広報ところ」ではこのあと、昭和56年5月3日開催の「第6回ホルスタイン・ジュニアショー」が町営イワケシ牧場で開催されたことを伝えています。内容はほぼ同じなので、不定期に、名称を変えながらも継続していたことがわかります。最終回ははっきりしませんが、イワケシ牧場が閉牧した昭和58年3月までの間と考えられます。